

24.6.12(火)

午前10時00分

~

第3委員会室

# 産業建設常任委員会

## 1 開 議

## 2 日程説明

## 3 陳情・要望について

- ・ 地域経済の再生めざし、最低賃金の大幅に引き上げと中小企業支援強化を国に求めるための陳情書

## 4 委員の推薦について

- ・ 亀岡市都市計画審議会委員の推薦

## 5 議会報告会の意見対応(5月8日開催分)について

## 6 議会だよりの委員会報告事項について

## 7 行政視察総括について

## 8 その他

- ・ 次回の月例委員会について

# 議会報告会(5/8)で頂いた意見・要望等と回答について

## 産業建設常任委員会

会場	意見・要望などの概要	当日回答内容	対応		
			参考	報告	回調査
稗田野9	国道9号について、沿線店舗が車両の通行を規制している。資格を有しない者が行っている。おかしい。側道を作るべき。回答は必要ない。				
稗田野10	市長は工場誘致を言っている。誘致する土地は市内に存在しない。職住一体のまちづくりの検討を。回答は必要ない。				
千代川5	川関小林線は通学する子供たちも多いが、交通量も多い。整備は進めていただいているが、更なる安全のための交通規制等には警察なども関係してくるので、要望の際には議会も協力をお願いしたい。	事故の後、すぐできることと中長期的に取り組むことを話し合っている。人と車の関係も含めて議論しなければならないと考える。市内の歩道設置率は13%、看板設置や取締り強化など、できることから進めていく。まちづくり推進部が危険箇所の確認に回っているので、地域の協力もお願いしたい。			
篠3	事故現場の整備には限界がある。その中で子どもたちは学校に通学しなければならない。 短期にできることとして速度制限などの通行規制、啓発看板の設置、警察による取締りの3つが提案されているが、これだけでは保護者は納得できない。議会として短期的にできる対策は他にないのか。 地元PTAでは、登下校時間帯における通行止(スクールゾーン化)にする要望が最も多いが、現状では厳しい。中・長期的に実現可能となる場合、どれ程先になるのか見通しを。	市道北古世西川線と馬堀停車場線を接続し、縦貫道篠インターまでつなぐことができれば、交通量も減少するため、旧道の交通規制、歩道拡幅なども可能と考えるが地域住民の出入りもあり、通行止めは困難と考える。また旧道の交通量の減少の観点から、縦貫道の無料化も検討する必要がある。については議会で議論をし、改めて回答する。			
篠5	ガードレールの設置目的、設置箇所の見直しなど、道路行政全般的に議会でチェックしてほしい。	意見として受け止める。議会の議論の中で対応していきたい。			
篠10	稗田野町、国道佐伯のバス停から作業所まで、歩道がなく危険である。当該道路の安全対策を要望する。	-			
篠11	篠町の事故ではまず緊急対策が必要であるが、加害者のモラル、生活環境などを推察するに、若者の雇用等による生活の安定についても、考えなければならない。	-			

# 議会報告会(5 / 8)で頂いた意見・要望等と回答について

各常任委員会 議会運営委員会

会場	意見・要望などの概要	当日回答内容	対応		
			参考	報告	回調査
篠1	篠町の事故を受け、議会の対応が見えない。どのように考えているのか。早急な対応を願う。	道路管理等のハード面、安全教育等のソフト面の両面から、できる限りの対応を協議している状況である。議会では1日も早く安全対策を講じるよう、市長・教育長に対し、道路危険箇所における路側帯の改善や各学校における交通安全に係る備品購入など、すぐにできることについては、議会の議決を待たず、予備費を充用するなど、迅速な対応の申し入れを行っている。また地域の道路事情にあった安全対策を各種団体と一体となって検討する必要がある、議会としても、地元住民の意見を最優先に考え、でき得る施策を全面的にバックアップしていきたい。			
篠6	篠町の事故については、まずこのような運転者がいることは一番問題である。その次にはスピードを出せないような道路整備、その次に歩行者の安全対策・交通ルール、と分けて対策を検討すべきである。専門家や地元住民の意見を聴取のうえ対策をとりまとめ、働きかけてほしい。	意見として受け止める。議会の議論の中で対応していきたい。			